

「赤旗」読者・後援会員のみなさんへ

総選挙勝利、「党勢拡大大運動」「特別期間」成功を目指し

世直しを確実にすすめるためのお願い

日本共産党に共感を寄せていただき、また、日ごろより支持、協力していただいていることに、心よりお礼申し上げます。

国民多数の反対を押し切り大飯原発の再稼働、消費税の増税やオスプレイの配備を強行する野田暴走政権と、これを推進する民主党、自民党、公明党の談合政治に厳しい国民の批判が広がっています。

「二大政党」の体たらくへの国民の怒りを利用し、「維新の会」などいっそう危険で政治を悪くする流れも強まっています。小沢新党も結成されましたが、こうした流れや「維新の会」に国民の希望を託すわけには行きません。

この日本社会の閉塞状況を打ち破るには、「財界いいなり」「アメリカいいなり」という日本の政治の「2つの害悪」を断ち切る改革を進めることです。国民のみなさんと力をあわせ、その事業を担っていけるのは日本共産党です。

きたるべき総選挙で、今度こそ勝ちぬくために、今、「党員拡大を中心とする党勢拡大大運動」の「特別期間」に全党をあげてとりくんでおります。

あなたの日ごろからのお力添えに感謝しますとともに、下記の4つの点で世直しへお力を尽くしていただくよう心よりお願いいたします。



衆院比例中国
ブロック候補
石村ともこ

世直しを確かにすすめる 4つのお願い

①日本共産党に入党しておられない方は、ぜひこの機会に入党してください。

今年の7月15日に党創立90周年を迎えました。この歴史的時代に日本共産党の党員として、生きがいのある人生を歩まれることを心からよびかけます。

②「綱領を語り合う集い」開催にお力を貸してください。

「集い」は日本共産党をまるごと知ってもらい、人間的連帯があふれる党の姿を実感してもらえる場です。少人数で気軽に開くことを重視しています。お友だち、ご近所に声をかけ「集い」を開いてください。

③「しんぶん赤旗」を広げる運動にお力を貸してください。

日刊紙（月3400円）、日曜版（月800円）をまだ購読されていない方は、ぜひ日刊紙、日曜版を購読してください。また「しんぶん赤旗」「岡山民報」を読んでいただける方を紹介してください。



衆院岡山5区
候補
古松けんじ



弁護士
元参議院議員
仁比そうへい

④いよいよ総選挙です。供託金・総選挙募金にご協力ください。

政党助成金も企業献金も受け取らず、清潔な財政活動をつらぬく党だからこそ、国民の立場でスジをとおして頑張ることが出来ます。財政の面でもぜひ総選挙のたたかいをささえていただくようお願いいたします。

2012年（平成24年）7月20日

日本共産党 井原市議会議員 森本ふみお

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

日本共産党はこう考えます

しんぶん赤旗
「主張」より

日本共産党創立90周年 新しい時代の希望を開く決意

天皇中心の暗黒政治のもと、戦前の日本がアジア侵略に突き進んでいた1922年（大正11年）7月15日、「国民が主人公」の民主政治実現と侵略戦争反対の旗を掲げて日本共産党が創立されて、90周年を迎えました。

戦前、戦中、戦後と幾多の曲折はありましたが、日本共産党は困難に屈せず、歴史を切り開いてきました。創立90周年にあたり、各界の方々から心をこめたお祝いと温かい励ましをいただいたことに、改めて心引き締まる思いです。



苦難打開を立党の精神に

「いまこそ、ほんとうにやってくれよという気持ちです。国民が求めている日本をつくるために」（品川正治さん）、「この辺で庶民の味方、共産党政権になると日本も変わるでしょうね」（石川文洋さん）、「まっとうに働いても生きていけない社会の仕組みもあらためてほしい。日本共産党の役割は大きい」（米倉齊加年さん）…。各界からのメッセージには日本共産党に大きくなって政治を変えてほしいとの気持ちがあふれています。

いま震災からの復興に取り組む活動でも、原発からの撤退を求める活動でも、消費税の増税や環太平洋連携協定（TPP）参加に反対する活動でも、日本共産党と幅広い方々との共同が広がっています。創立いらい立党の精神としてきた「国民の苦難あるところ日本共産党あり」の伝統が力を発揮していると痛感します。

日本共産党は戦前公然とした活動を認められませんでした。創立直後23年9月の関東大震災に際し、党員や支持者が救援に尽力し、そのさなかの弾圧で命まで奪われました。どんな時にも国民の苦難打開に力尽くす立場は、東日本大震災でも発揮されてきました。

「共産党の人たちに出会って、人の温かみや思いやり、感謝する気持ちにあらためて気がつきました。…頑張らなければ、そういう気持ちになりました」。大震災で被災し仮設住宅に暮らしながら日本共産党の一員となられた方からも、こんな手記が「しんぶん赤旗」に寄せられています。

創立当時日本共産党が掲げた生活擁護の要求のなかには、「8時間労働制」などとともに、金持ちほど負担が重い累進所得税など税制の民主化も掲げられていました。消費税増税に頼らず、ムダの削減と応能負担の原則で社会保障の財源を確保するよう求める今日の主張にも、それは貫かれています。

戦前の天皇制政府は日本共産党が掲げた「国民が主人公」と侵略戦争反対の主張に対しきびしい弾圧でのぞみ、多くの犠牲者を生みました。日本共産党が命がけてたたかった野蛮な天皇制は敗戦とともに終わり、どんな弾圧にもくじけなかったその主張は、戦後の憲法にしっかり刻まれています。

政治の岐路に立って

戦後日本共産党は、アメリカいなりと財界・大企業本位の異常を根本からただすことが、日本の政治に不可欠だと訴えてきました。「草の根」からの共同の広がりの中で、このこともますます国民の共通認識になりつつあります。

日本はいま、政治と社会の危機と新しい時代への希望が交錯する歴史的な岐路に立っています。日本共産党創立90周年にあたり、強大な党をつくることによって新しい時代への希望を切り開くために、全力を尽くす決意です。

この「後援会ニュース」は森本ふみお議員の
ブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。